

2007年3月期決算説明会資料

2007年4月27日

川崎重工業株式会社



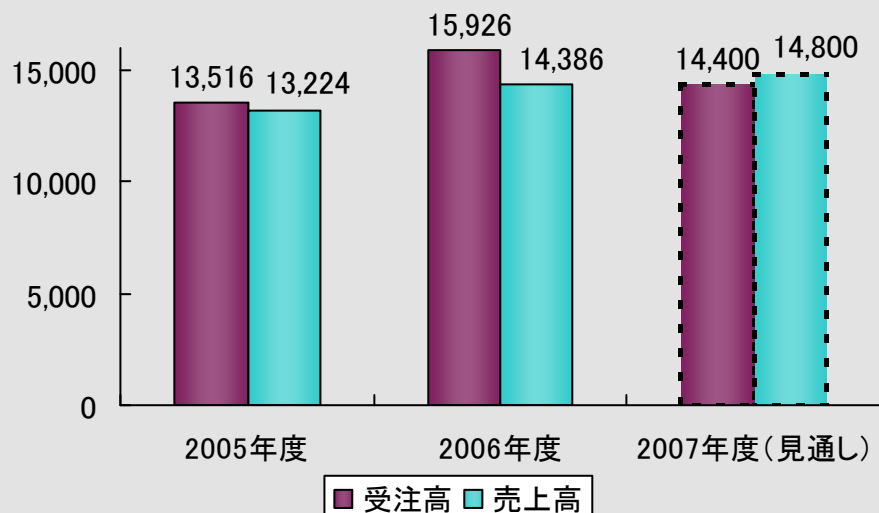
目次

・2007年3月期 連結決算の概要	1
・前年比損益増減要因分析	2
・有利子負債およびキャッシュフロー	3
・セグメント別決算実績と業績見通し	
船舶	4
車両	5
航空宇宙	6
ガスタービン・機械	7
プラント・環境・鉄構	8
汎用機	9
・研究開発費・設備投資・期末従業員数	10
・2007年度セグメント別業績見通し	11
・2007年度セグメント別受注高の見通し	12
・連結セグメント別の状況(2006年度実績)	13

2007年3月期 連結決算の概要

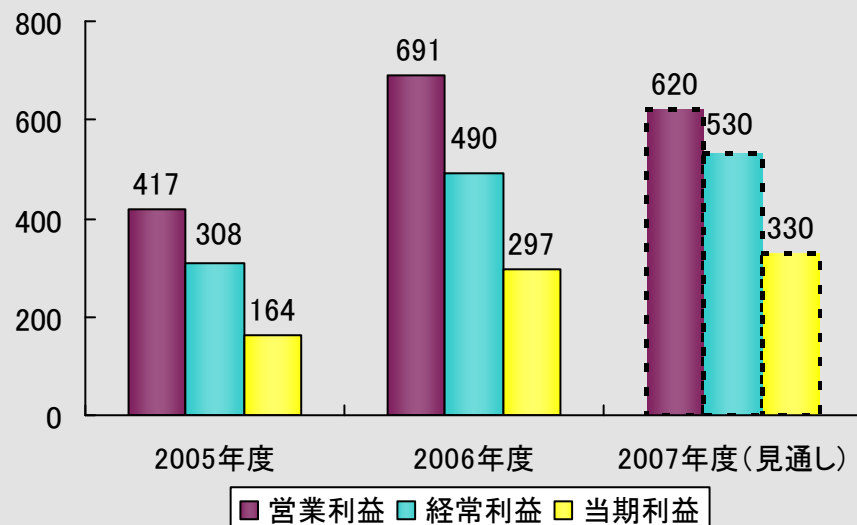
受注高・売上高

(億円)



損益

(億円)



売上加重 平均レート	2005年度 (実績)	2006年度 (実績)	2007年度 (前提レ ート)
ドル (¥/USD)	112	117	110
ユーロ(¥/EUR)	139	152	150

(億円)

	2005年度 (実績)	2006年度 (実績)	2007年度 (見通し)
営業利益	417	691	620
経常利益	308	490	530
当期利益	164	297	330

前年比損益増減要因分析

≪ 営業損益の増減要因

(+273億円)

為替による影響	+183億円
販売費及び一般管理費の増加 *	▲ 59億円
素材価格上昇による影響	▲110億円
増収効果	+127億円
コストダウン・固定費低減他	+132億円

* 2006年度より汎用機事業の改良研究費を売上原価から販管費に計上する会計処理変更を行った。(2006年度の処理変更影響額180億円)
上記は処理変更前の状態に調整して、2005年度と比較分析をしている。

≪ 営業外損益の増減要因

(▲91億円)

金融収支	▲ 6億円
有価証券売却益(前期43億円→当期9億円)	▲ 34億円
持分法による投資利益(前期▲2億円→当期26億円)	+ 28億円
為替差損益(前期▲89億円→当期▲133億円)	▲ 44億円
その他	▲ 35億円

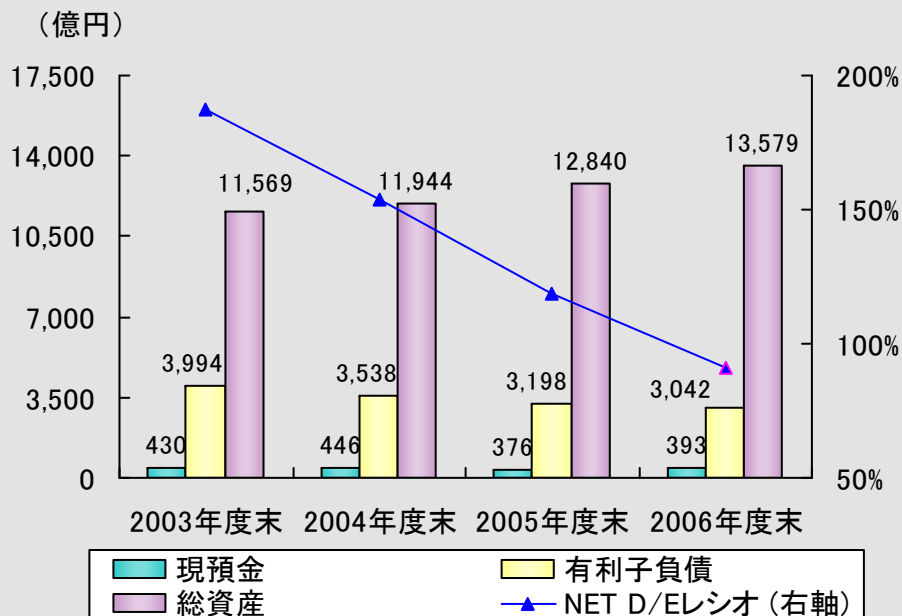
≪ 特別損益の増減要因

(+38億円)

退職給付信託設定益(前期129億円→当期ゼロ)	▲129億円
事業構造改善損失(前期158億円→当期ゼロ)	+158億円
訴訟損失引当金繰入および独禁法違反に係る損失 (前期8億円→当期38億円)	▲ 30億円
その他	+ 39億円

有利子負債およびキャッシュフロー

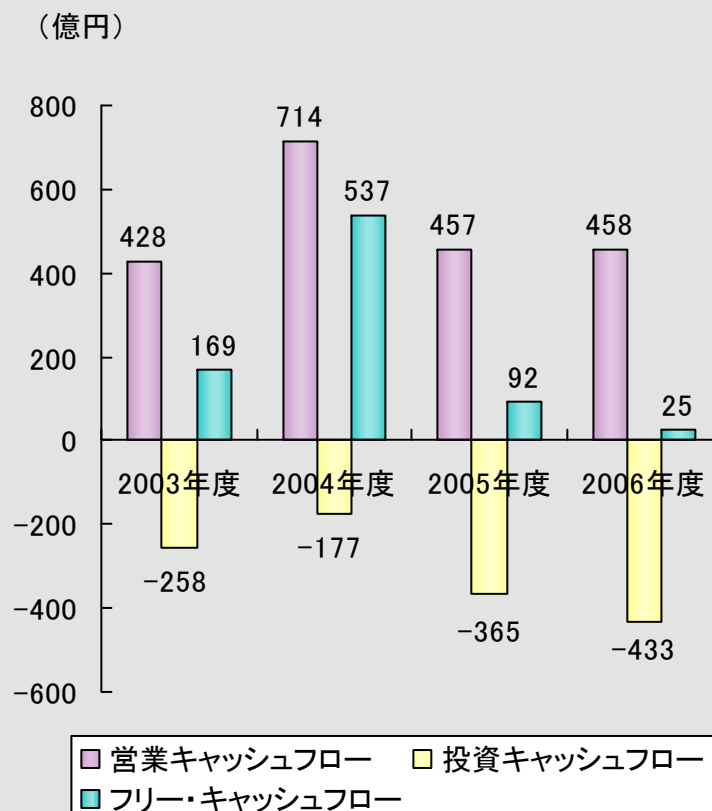
B/S



(億円)

	2003年度末	2004年度末	2005年度末	2006年度末
NET有利子負債	3,564	3,092	2,821	2,648
自己資本	1,901	2,014	2,375	2,904
NET D/ELシオ	187%	154%	119%	91%

キャッシュフロー

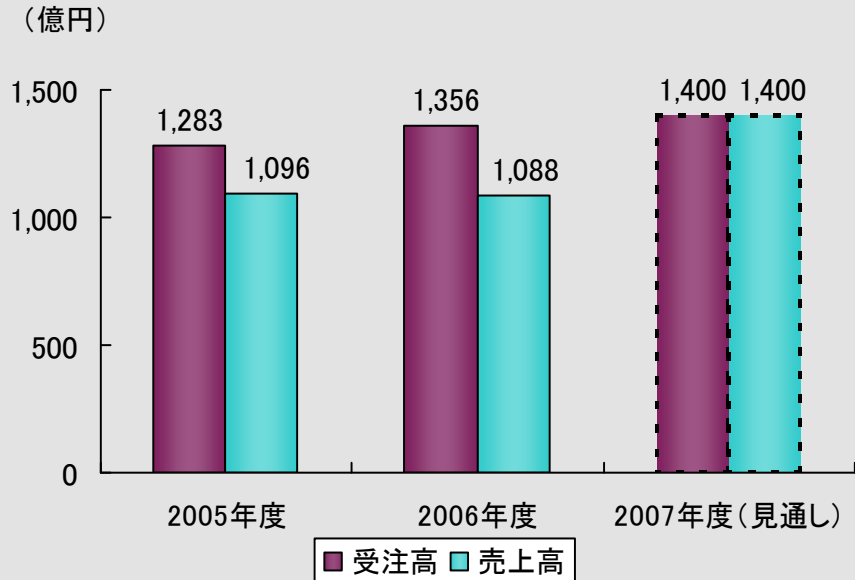


* フリー・キャッシュフロー: 6年連続黒字 (合計約1,400億円)

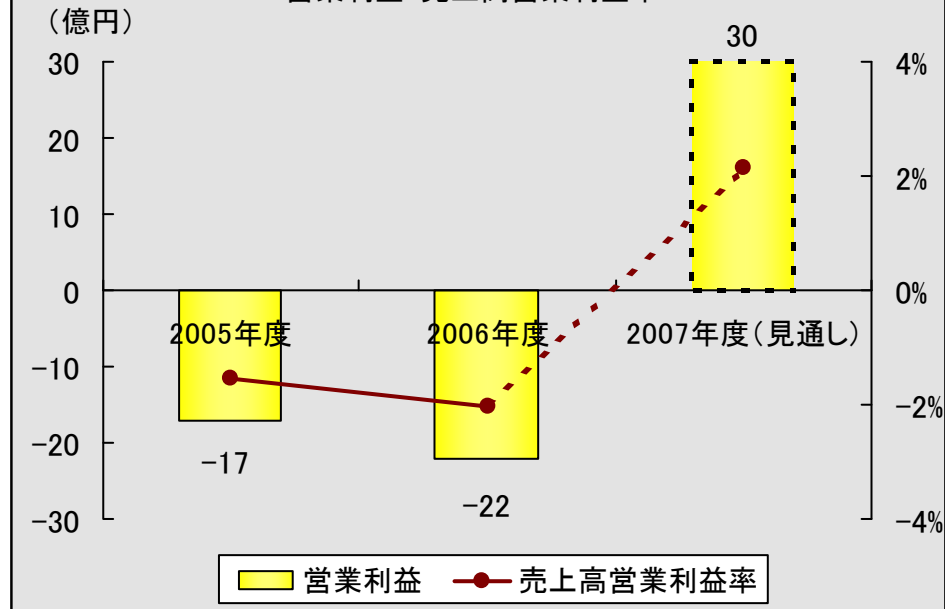
* 有利子負債: 受注増に伴い資金需要が高まりつつあるが、利益増、売掛回収の促進等資金効率の向上への取り組み、更には転換社債の転換が進んだこと等から、2006年度末残高は3,042億円と前期末より155億円の減少 (直近5年間で約1,800億円の減少)

船舶

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



(隻)

	受注		売上	
	2005年度	2006年度	2005年度	2006年度
LNG船	1	3	4(3)	6(3)
小型LNG船	2	-	1	-
LPG船	1	2	-	-
VLCC	1	-	2	2
バルクキャリア	10	8	7	8
潜水艦	1	-	2(1)	2(2)
合計	16	13	16(4)	18(5)

注) 括弧内は進行基準売上(内数)

2006年度実績

- * LNG船、LPG船の受注増
- * 鋼材価格上昇の影響等による収益圧迫

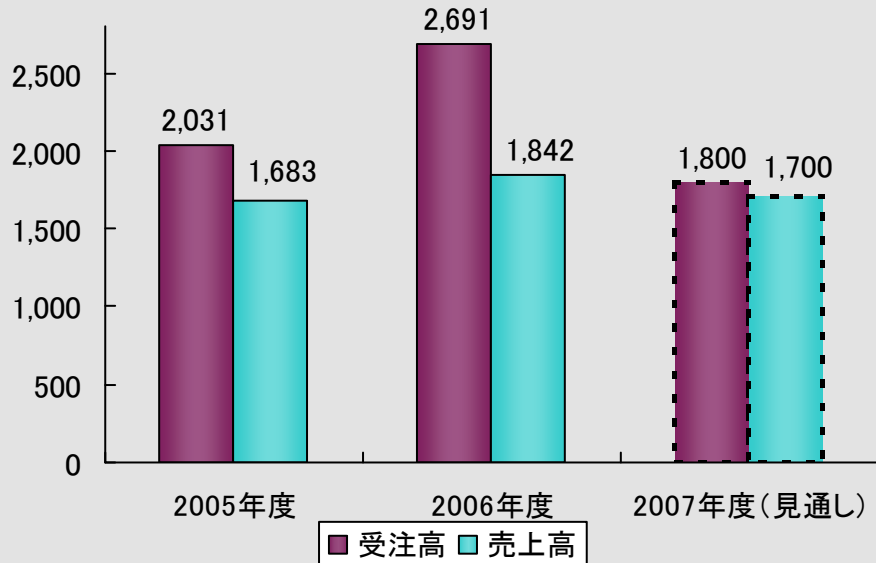
2007年度見通し

- * 堅調な海運市況を背景とした高水準な受注継続
- * LNG船、LPG船等の売上増
- * 不採算船の減少およびLNG船、LPG船等の売上増による黒字転換

車 両

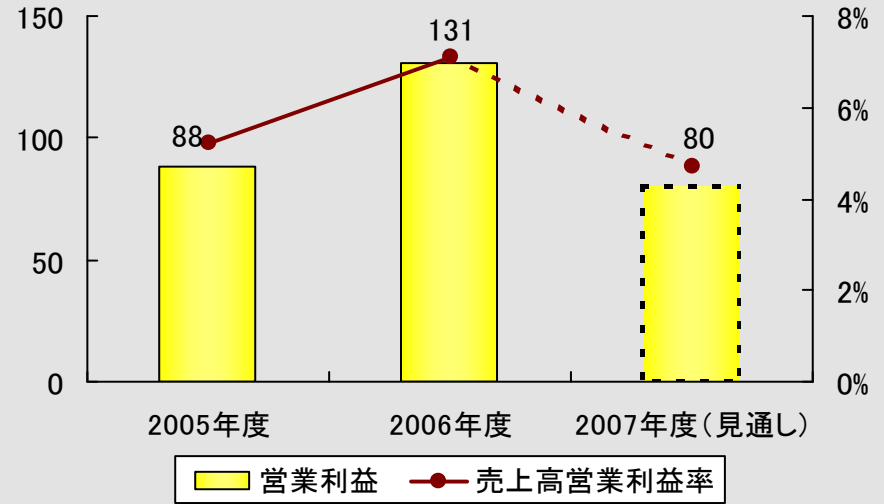
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



2006年度実績

[受注]

- * 海外大型案件による大幅受注増
 ニューヨーク州交通局外ロース鉄道向け通勤電車(300両/約7億US\$)
 台北市向け地下鉄システム
 (当社、丸紅およびCTCIの三社コンソーシアムの共同受注 約570億円)

[売上・損益]

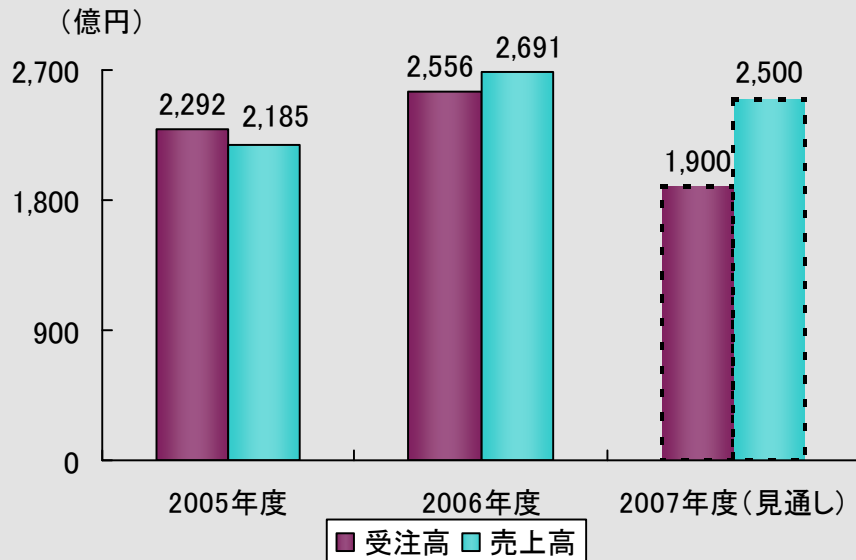
- * 中国200km/h 在来線高速化プロジェクト等の海外大型案件および北米向け建設機械の売上増等による利益増

2007年度見通し

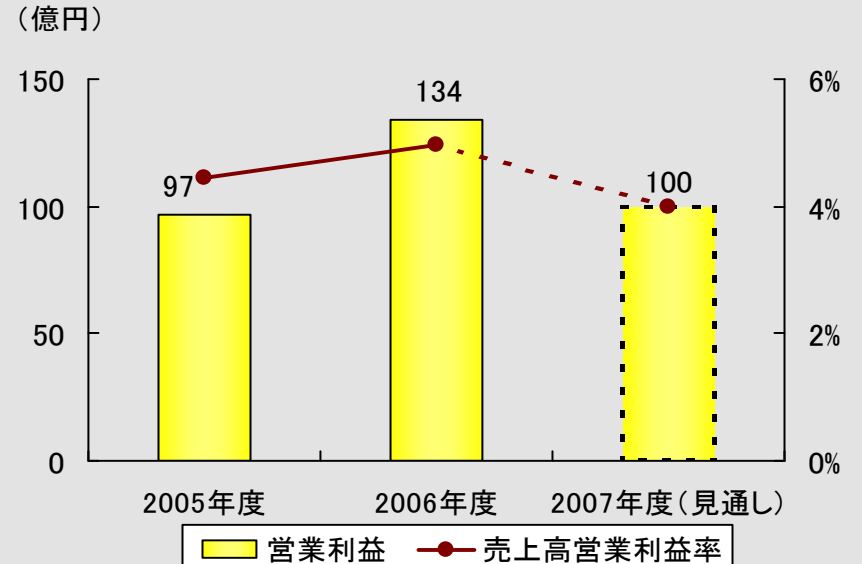
- * JR向け、その他民需国内車両の売上増
- * 中国200km/h 在来線高速化プロジェクト等の海外大型案件の売上減による利益減

航空宇宙

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



< 民需分担生産品の売上機数 > (機)

	売上	
	2005年度	2006年度
B777	49	73
B767	11	13
Embraer170/175	39	37
Embraer190/195	37	79

2006年度実績

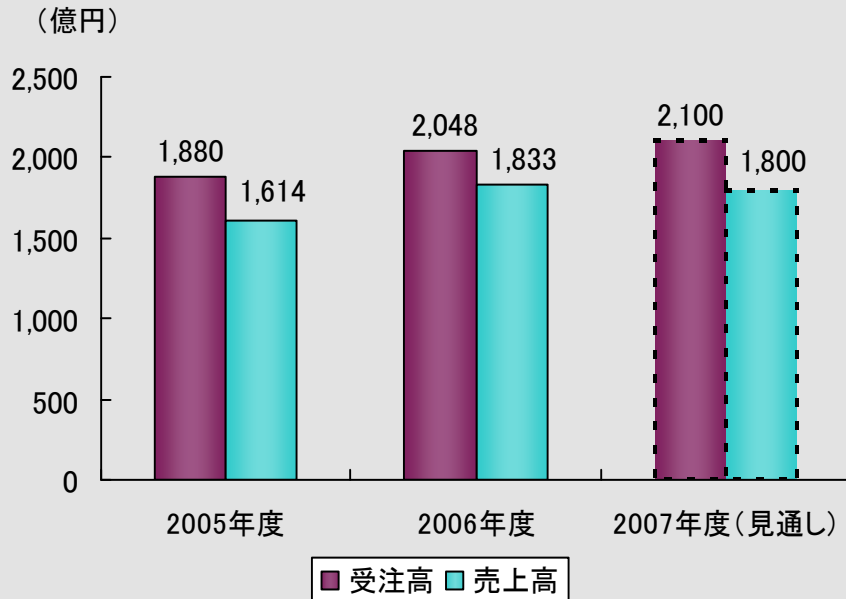
- * BOEING社向けB777など民需分担生産品の受注増
- * 防需大型機(P-X/C-X)開発およびBOEING社向け売上増等による利益増

2007年度見通し

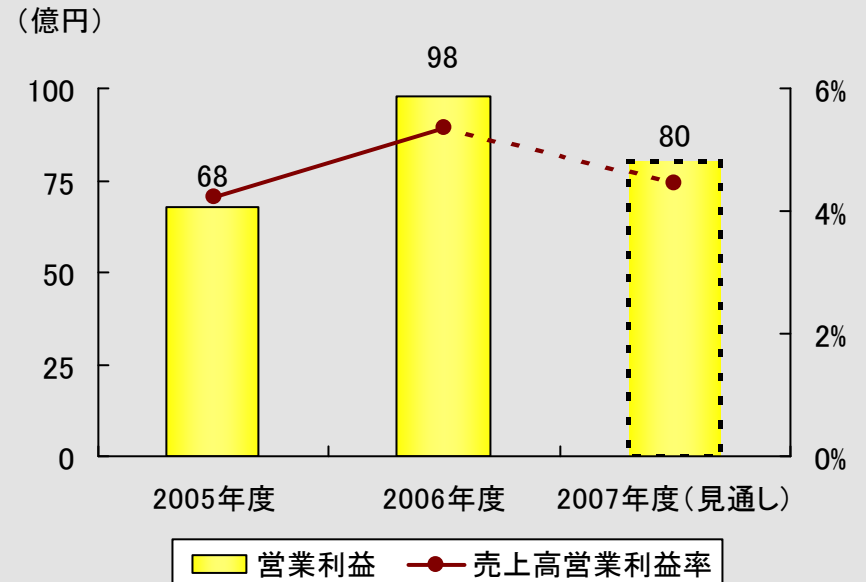
- * 防需大型機(P-X/C-X)開発プロジェクトのピークアウト
⇒ 受注、売上および利益ともに減少

ガスタービン・機械

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



2006年度実績

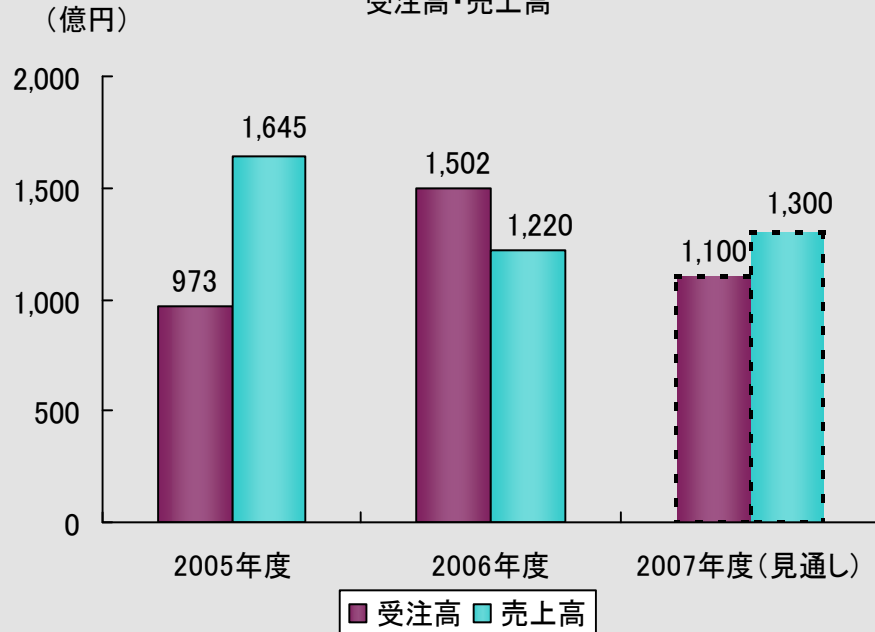
- * 民間航空機用エンジン、産業用ガスタービン等の受注増
- * 民間航空機用エンジン、産業用ガスタービン等の売上・利益増

2007年度見通し

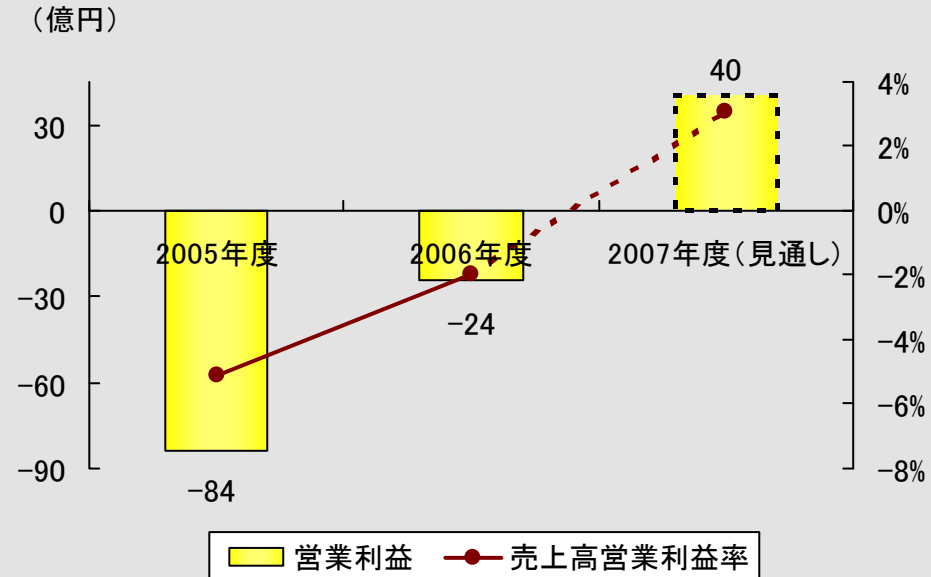
- * 前期並みの売上計画：(+)産業用ガスタービン、空力機械
(-)LNG船用蒸気タービン、船用ディーゼル主機
- * 素材価格上昇の影響等による利益減

プラント・環境・鉄構

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



<2006年度 主な受注/売上案件>

受注	売上
<ul style="list-style-type: none"> 韓国/フェロニッケル精錬プラント パキスタン/尿素プラント ベトナム/セメントプラント 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都/世田谷清掃工場建設工事 岸和田市貝塚市向け都市ごみ焼却プラント

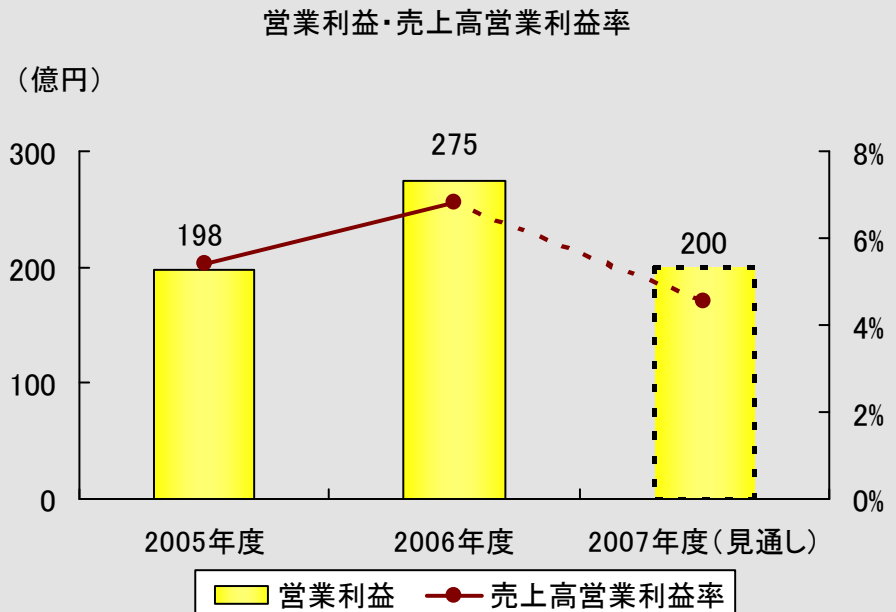
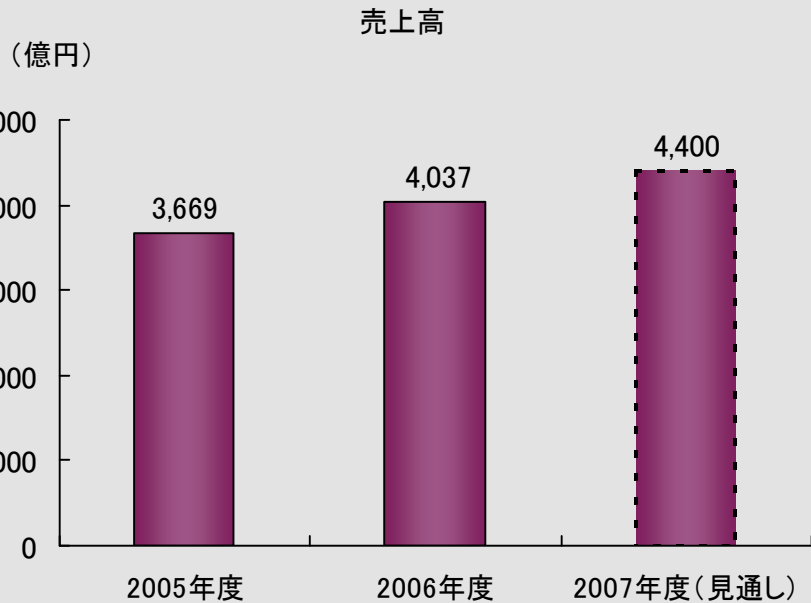
2006年度実績

- * プラント部門の海外大型案件の受注
- * 選別受注の徹底による海外プラント案件の売上減
- * プラント部門の黒字転換等による損失減少

2007年度見通し

- * 選別受注の徹底
- * 海外プラント案件の売上増
- * 環境部門の不採算案件の減少等による黒字転換

汎用機



<コンシューマー向け製品 地域別売上台数・金額 >
(単位:台数:千台/金額:億円)

仕向地	2005年度		2006年度	
	台数	金額	台数	金額
国内	26	171	21	159
北米	240(120)	1,595	254(140)	1,837
欧州	88	680	97	809
その他	174	334	130	326
合計	528	2,780	502	3,131

注1) 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト
(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2) 国内にはOEM供給による販売を含む。

注3) 括弧内は二輪車分を示す。(内数)

2006年度実績

- * 北米向け二輪車および産業用ロボットの販売増
- * 増収効果による利益増

2007年度見通し

- * 欧州向け二輪車の販売増
- * 素材価格上昇および為替の影響(計画レートUS\$=110円)等による利益減

研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 見通し
研究開発費 _{注1)}	270	338	380
設備投資	417	393	560
減価償却費	305	303	_{注2)} 390
国内	22,663	22,872	23,300
海外	6,259	6,339	6,700
期末従業員数	28,922	29,211	30,000

注1) 汎用機事業の改良研究費を含む。

注2) 税法改正に伴う減価償却方法変更の影響を織り込んでいる。

2007年度セグメント別業績見通し

(億円)

	売上高		営業利益	
	2006年度 実績	2007年度 見通し	2006年度 実績	2007年度 見通し
船 舶	1,088	1,400	▲22	30
車 両	1,842	1,700	131	80
航空宇宙	2,691	2,500	134	100
ガスタービン・機械	1,833	1,800	98	80
プラント・環境・鉄構	1,220	1,300	▲24	40
汎 用 機	4,037	4,400	275	200
そ の 他	1,673	1,700	98	90
合 計	14,386	14,800	691	620

2007年度前提レート
\$=110円/EUR=150円

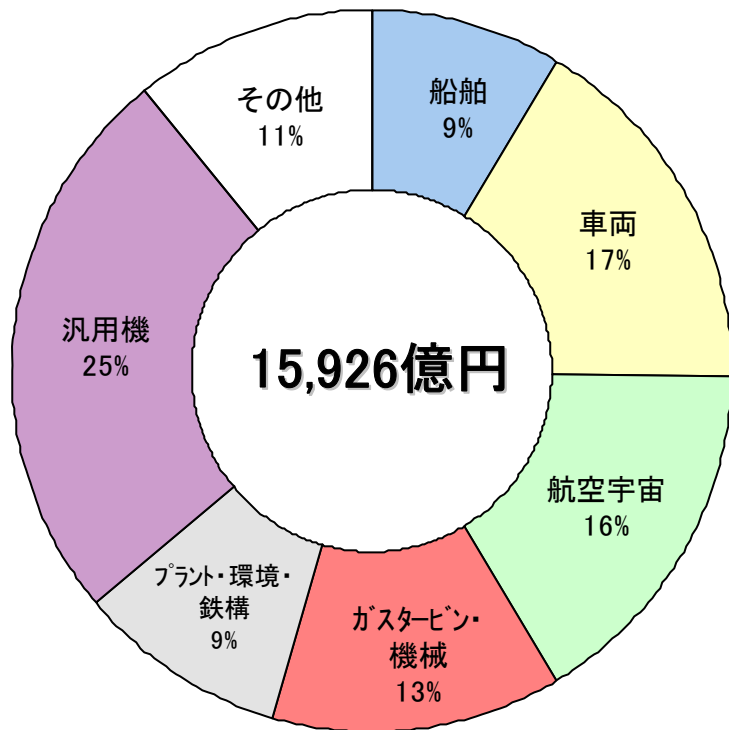
2007年度セグメント別受注高の見通し

(億円)

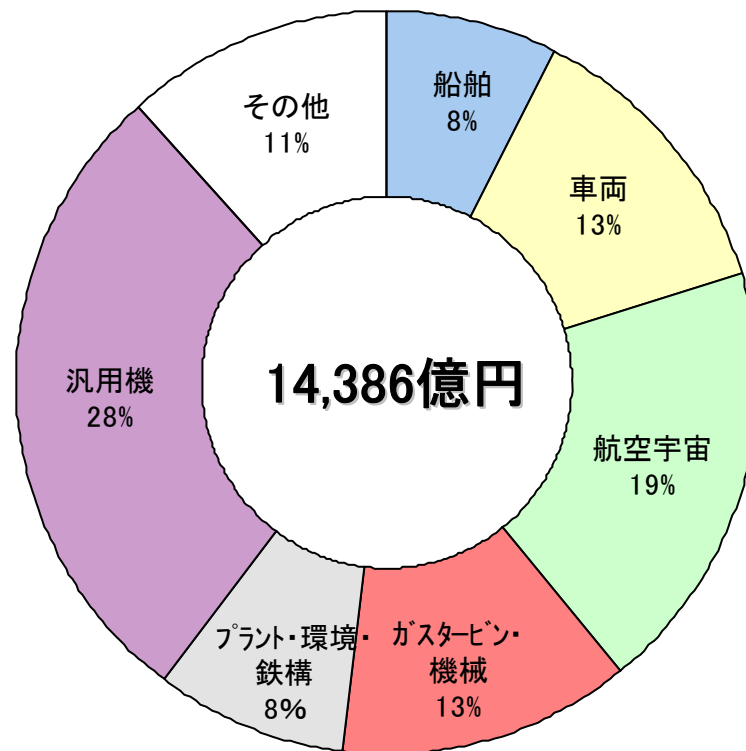
	受注高		
	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 見通し
船 舶	1,283	1,356	1,400
車 両	2,031	2,691	1,800
航空宇宙	2,292	2,556	1,900
ガスタービン・機械	1,880	2,048	2,100
プラント・環境・鉄構	973	1,502	1,100
汎用機	3,669	4,037	4,400
そ の 他	1,385	1,735	1,700
合 計	13,516	15,926	14,400

連結セグメント別の状況(2006年度実績)

受注高



売上高



Kawasaki, let the good times roll !

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。